

2. 小刀根トンネル

現存する日本最古の鉄道トンネル。このサイズに合わせてD 51 形蒸気機関車が作られたといわれている。



14. 伊良谷トンネル

樫曲・葉原・山中トンネルと同じ意匠に整えられたトンネル。芦谷・曲谷トンネルが連続する様子を望むことができる。



44. 旧敦賀港駅ランプ小屋

列車の灯火に使用するカンテラの燃料が保管されていた油庫



4. 樫曲トンネル

内壁・入口が全てレンガ積みという特別な意匠が施されたトンネル

祝！日本遺産認定

海を越えた鉄道

～世界へつながる 鉄道のキセキ～

長浜市・敦賀市・南越前町で文化庁に申請していた「海を越えた鉄道」が「世界へつながる 鉄道のキセキ」のストーリーが6月19日に日本遺産に認定されました。敦賀市では「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間」が北前船寄港地・船主集落」に次いで2件目の日本遺産認定となりました。

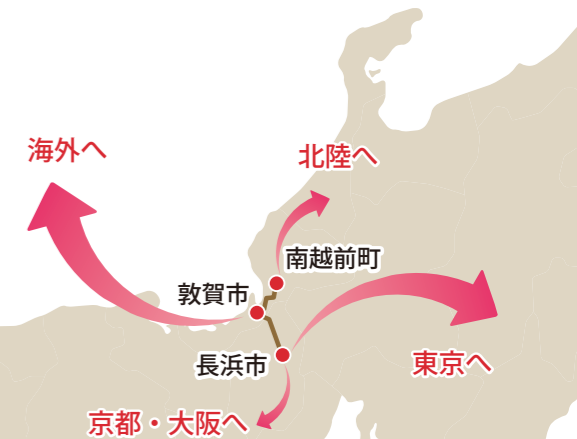
日本遺産とは

地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもので、平成27年度に創設されました。ストーリーを語る上で欠かせない魅力あふれる有形・無形の文化財群を国内外に発信し、地域の活性化を図ることを目的としています。

3市町が残した鉄道遺産

長浜市・敦賀市・南越前町は、古くから宿場町や港町として栄え、交通の要所として発展してきました。明治維新を経て、近代国家への道を歩み始めた日本のなかで、3市町は鉄道で結ばれ、人と物資を運び、文化や経済の成熟を支えてきました。

長浜市は、日本海と太平洋を結ぶ水陸交通のターミナルとして、敦賀市は、陸運と海運を結節する



日本遺産に認定された

鉄道遺産ストーリー

鉄道と港のまちとして、南越前町は、峠越えに挑む鉄道基地として。福井県と滋賀県にまたがる旧北陸線のエリアには、今も当時の歴史を偲ぶことのできる鉄道遺産を中心とした貴重な近代化遺産が数多く残っています。

明治時代に長浜市・敦賀市・南越前町間に鉄道が敷設されたことにより、この地域に物流の革命がもたらされ、それは海外航路とのつながりを促しました。鉄道は国際列車として世界へと通じ、人、文化、経済の国際交流の架け橋となりました。それらの鉄道遺産は、姿や形を変えずに、人々の生活に必要な財産として生まれ変わり、

地域に密着した文化財として生き続けています。左上の位置図をご覧ください。皆さんが行ったことのある場所や通ったことのある道路に、こんなにたくさん貴重な遺産があったんだということを知っていただけたらと思います。今後これらの鉄道遺産は、北陸新幹線敦賀開業を契機に、国内外からの観光客を迎える役目を担い、長浜市・敦賀市・南越前町の一体的かつ広域的な観光振興による地域活性化に貢献していきます。

interview

鉄道遺産が晴れて日本遺産に認定されたことは嬉しい限りです。これを機に多くのお客様に来ていただきたいと思っています。日本遺産として、今を見るだけでなく、そこから歴史や文化も感じ取っていただくため、私たちはその魅力をしっかりお伝えし、満足していただけるおもてなしができるよう取り組んでまいります。

観光ボランティアガイドつるが
会長 増田正樹さん

